



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第54巻第  
5号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第54巻第5号). 泌尿器科紀要 2008, 54(5): 394-394

ISSUE DATE:

2008-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/71658>

RIGHT:

3. 論文の採否: 論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正: 査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文: 論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正: 校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載: 論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)、超過頁は1頁につき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)、6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権: 当誌に掲載する著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷: 30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

## 編 集 後 記

予想したとおり後期高齢者医療制度が揺れている。「後期高齢者」という言葉自体は、京都大学の亀山正邦神経内科名誉教授が提唱された言葉で、75歳以上になると併存疾患の数が急増し、より特別な医学的配慮が必要であることから定義されたと聞いている。

この制度改革は不採算部門を抱えた会社の整理方法と大変よく似ている。会社は不採算部門を別会社として独立させ、本体の健全化をはかると同時に、別会社を存続させるかどうかを判断する。別会社とすることで、不採算の原因も明確になり、存続させるかどうかの判断も容易になる。

高齢者医療は今後益々不採算にならざるを得ない。高齢者の医療（保険）制度を本体と切り離すことで、どのくらい採算が合わないかがはっきり国民の前に突きつけられることになる。はっきりしたところで、「高齢者を見殺しにするのですか？それとも税金で補填するのですか？」と政府は聞いてくるのだろう。その意味で「姥捨て山」議論は的を射ている。当時の経済界のシンクタンク（経済財政諮問会議）が考えついたものだろうか。高齢者の負担軽減につながるとは思えないが、実にうまいやりかたである。

(小川 修)